

平成31年度 文京区立第十中学校第3学年経営

学年目標

「認め合おう」「助け合おう」「高め合おう」

- 正しい判断力のもと、考えて行動する生徒を育てる。
- 話を集中して聴き、真剣な授業で学び合いができる生徒を育てる。
- 仲間を大切に、自浄作用で正義が貫ける生徒を育てる。
- 行事に燃え、行事で成長する生徒を育てる。

指導の重点

(1) 学習指導

- ①学校生活全て（授業・行事・部活動・生徒会活動など）が「学ぶ場」であることを意識させる。（目標を持たせること。評価すること。）
- ②基礎学力、学習習慣の定着
 - ・授業規律の確立（チャイム始業など）
 - ・家庭学習、定期考査対策の取り組み、計画的な学習
- ③「特別の授業道徳」の指導にあたっては、学年教員全員で取り組むこととし、年間を通して計画的に授業を担当する。

(2) 生活指導

- ①仲間とのかかわりを大切に、自浄作用が働く集団づくり
- ②学校生活の中で、しっかり「正義」が貫けるような学級・学年づくり
- ③「スクールライフ」による生徒とのコミュニケーション、生徒理解
- ④問題行動の早期発見、早期指導、家庭との連携 <教育・協育・共育>
- ⑤生徒の心根に届く指導。生徒の気持ちを解きほぐし、論理的にも感情的にも納得させる。

(3) 進路指導

- ①卒業後の進路だけでなく、将来を見据えた生き方を考えさせる。
- ②向上心をもって自らの可能性を追求させる。
- ③自己理解・適性に基づく後悔のない進路選択。
 - 1年 職業調べ「東京寺子屋」
 - 2年 上級学校調べ、上級学校訪問、職場体験
 - ☆3年 進路説明会・体験入学、進路選択

(4) 学級指導

- ①各担任の創意工夫を生かしながらも、学年で常に連絡を取り合い、共通の項目では同一步調がとれるようにする。
- ②副担任は、学年担任とする。
- ③給食指導は、学年教員全員で取り組むこととし、年間を通して副担任も生徒と一緒に給食を取る。